

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

課題番号	19HT0082	分野	医歯薬学	キーワード	脳神経活動、自律神経活動
研究機関名	東京慈恵会医科大学				
プログラム名	クスリになる音楽！ 音楽の効果を科学する				
先生(代表者)	中島 淑恵(なかじま よしえ)・医学部看護学科老年看護学・准教授				
自己紹介	音楽の効果を検証して、脳や脊髄の機能に障がいをもった方々のリハビリテーションに科学的根拠に基づいて応用することを、医療の中で身近にできるようにすることを使命にしています。普段は看護学の教育に携わっていますが、音楽療法活動やアマチュアオーケストラでフレンチホルンを吹いています。				
開催日時・募集対象	2019年7月20日(土)	受講対象者	中学生・高校1・2年生	募集人数	10名
集合場所・時間	東京慈恵会医科大学 国領キャンパス看護学科校舎3階講義室1		(集合時間)	8:30	
開催会場	東京慈恵会医科大学国領キャンパス看護学科校舎3階講義室1 住所:〒182-8570 東京都調布市国領町3-8-1 アクセスマップ URL: http://www.jikei.ac.jp/univ/access_2.html				
内 容					
【背景・目的】 音楽による情動の変化によって神経活動が影響を受けることを可視化し、その効果を医療に応用することについて考察させることを目的とする。 【講義】 プログラムの最初に、講義「クスリとしての音楽(講師:中島淑恵)」を行い、大学の講義の雰囲気を経験する。 【実験・実習】 実験①「音と神経活動の関係性を目で見てみよう」で、雑音と音楽を聴取した場合の自律神経活動の変動について記録し、結果の解釈について学び、体験する。実験②では「感情と音楽の関係性を調査してみよう」で、普段聞きなれている音楽と、こちらが指定した音楽を聴いた際の脳波の結果を分析し、気持ちが落ち着く音楽と身体運動を引き出す音楽の違いについて明らかにしてみる。					
スケジュール				持 ち 物	
8:30-9:00 受付 (集合場所:国領キャンパス看護学科校舎3階講義室1) 9:00-9:20 開講式(挨拶, オリエンテーション, 科研費の説明) 9:20-10:00 講義「クスリとしての音楽(講師:中島淑恵)」(休憩15分) 10:15-11:00 実験①「音と神経活動の関係性を目で見てみよう」				筆記用具 *ピアノ以外で、持ち運び可能な自前の経験楽器があれば、ご持参ください	
11:00-11:15 ブレイクタイム				特 記 事 項	

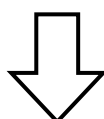
(休憩を兼ねたクッキータイム, 先生や大学生とお話する) 11:15-12:00 実験②「感情と音楽の関係性を調査してみよう」 12:00-12:30 ディスカッション 12:30-13:30 昼食 13:30-13:50 修了式(音楽と医療の博士号の授与) -14:00 終了, 解散	
---	--

《お問合せ・お申込先》

所 属・氏 名 :	教育センター・塩原憲治
住 所 :	〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8 東京慈恵会医科大学
T E L 番 号 :	03-3433-1111 内線 2722
F A X 番 号 :	03-5400-1300
E - m a i l :	shiobara-09@jikei.ac.jp
申込締切日 :	2019 年 6 月 22 日(土)
※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行います。抽選結果は 6 月 29 日(土)までにメールにて全員にご連絡します。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中島 淑恵	H29-31	基盤研究 C	17K12266	臨床音楽による癒し感の生理・心理的定量化手法の開発ー音楽併用リハビリテーションー
中島 淑恵	H27-H30	基盤研究 C	26463454	脳卒中患者の音楽療法併用リハビリにおける看護支援プログラムの開発
中島 淑恵	H25-28	若手研究 B	24792466	音楽療法併用リハビリの有効性に関する検討



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。